

建設トップランナー倶楽部

2月3日に開催

農林水産業との連携シンポ

建設業の複業化や新技術開発に取り組む建設業者などが参加する建設トップランナー倶楽部(米田雅子代表幹事)は、2017年2月3日に「建設業と農林水産業の連携シンポジウム(業種をこえて地域を元気に)」を農林水産省と共同で開催する。農林水産業に取り組む地域建設業6社の事例発表などを通じて、地方創生の可能性を探る。

参加希望者は、同倶楽部のホームページから申し込みすることができる。会費は無料。会場は、千代田区の農林水産省7階講堂。

事例発表テーマは、▽
荒廃農地を活用した苔シートによる緑化(皆建、新潟県)▽高品質アスパラガス栽培と地域おこし(幌村建設、北海道)▽地域連携による循環型農業の実現(愛亀、愛媛県)▽うなぎの養殖事業(山本建設、熊本県)▽ミラクルソルによる有明海再生と間伐材利用の軟弱地

盤対策(日本建設技術、佐賀県)▽森林の多機能利用で地域おこし(たか

やま林建、岐阜県)の六つ。

国土交通省の海堀安喜建設流通政策審議官や五道仁実技術審議官、農林水産省の新井毅農振局農村政策部長らがアドバイザーを務める予定。